

2019年度事業報告書 (2019年4月1日～2020年3月31日)

【事業概況】

今期の学生支援事業では、就活支援の「キャリア形成講習」については、参加企業は71社だったが、昨年に引き続き売り手市場から学生の参加者数は極めて少なかった。「海外留学助成」については、9月のドイツ・フライブルグ大学に6名、11月のベトナム外国貿易大学に14名、2月のシンガポール国立大学に8名の短期留学生に奨学金を授与した。

100周年記念事業について、5月から募集した100周年特別協力金(寄附金)が7,066千円と成果を上げ、各種イベントにプロモート費を支給し100周年の気運盛上げに努めた。9月にはMGC参加の鈴木亜由子選手への応援団も派遣し、その他の準備もほぼ順調に進行している。

財務面において、収入では会費収入が13,492千円と前年比2,537千円の大幅減となったが、上記特別協力金がこれを補う形となっはいるが、会費収入確保については抜本的な対策が迫られる。

支出では、特定基金への寄附金20,000千円と百周年準備費用2,662千円が大幅増加の理由となった。一方で、会議費の1,107千円減は、新型コロナ・ウィルスの影響で「謝恩会および入会歓迎会」を中止したためである。

その結果、期末の指定正味財産は106,822千円(△30,126千円)、一般正味財産は22,921千円(+4,692千円)、正味財産合計は129,744千円(△25,433千円)となった。

【事業内容】

1. 名古屋大学経済学研究科への支援事業

(1) 公益事業助成一覧表

(単位円)

学術研究助成	教員への研究助成	1,600,000
	大学院生への研究助成	400,000
	小計	2,000,000
シンポジウム等 支援	国際学術シンポジウムへの支援・助成	600,000
	ERC名古屋ビジネスセミナーへの支援・助成	380,000
	名古屋大学オープンカレッジへの助成	160,000
	国際学術交流への助成	306,392
	小計	1,446,392
講座助成	学生のための職業論	240,000
学生研究支援	海外留学助成	1,860,000
	学生懸賞論文	408,200
	キャリア形成への支援・助成	317,677
	小計	2,585,877
合計		6,272,269

(2) 公益事業の内容

◇キタン会研究奨励賞

経済学研究科から推薦された博士課程後期課程の4名に、キタン会研究奨励賞を授与した。

◇海外派遣留学生への助成

9月2日～30日「ドイツ・フライブルク大学・サマープログラム」に参加の6名、11月15日～24日「国際ものづくり経営人材育成プログラム（ベトナム外国貿易大学）」に参加の14名、2月19日～2月29日「ASEANと日本を繋ぐグローバル・ソフト基礎人材育成プログラム（シンガポール国立大ほか）」に参加の8名、合計28名に奨学金を授与した。

◇ERC名古屋ビジネスセミナーへの助成

第29回（7月3日）「M&Aによる中小企業の事業承継」 講師：高村徳康・セレンディップ会長

第30回（1月22日）「一带一路～日本経済にとってチャンスかリスクか」講師：薛進軍・経済学研究科教授

◇名古屋大学オープンカレッジ（全6回）への助成

- ① 9月28日「日本人の体形変化における男女差とその要因」 中村さやか・経済学研究科教授
- ② 10月12日「超高齢社会に負けない健康づくり・街づくり」 水野正明・医学部附属病院教授
- ③ 11月2日「名古屋市は大都市？—大都市制度から考える」 荒見玲子・法学研究科准教授
- ④ 12月14日「放射光利用技術の現在、そして未来」 田淵雅夫・あいちシンクトロン光センター教授
- ⑤ 1月11日「学校の日常をみえる化する」 内田良・教育発達科学研究科准教授
- ⑥ 2月15日「ヨーロッパ中世：大聖堂時代の美術②」 木俣元一・人文学研究科教授

◇助成講座

①大学生のための職業論（対象：3年前期、120名）

キタン会員等が講師となり、専門教育を学ぶ意味、就職して働く意義を問い直し、社会での「働き方・生き方」について理解を深めることを目的とする。

◇学生懸賞論文受賞者：表彰3月25日（応募総数：20編）

最優秀賞：相馬希美（角ヶ谷ゼミ・4年）「キーエンスの経営分析」

優秀賞：村上元太（高橋ゼミ・4年）、榊原真（角ヶ谷ゼミ・4年）、

佳作：伊藤沙也加（土井ゼミ・4年）、小林啓介（清水ゼミ・4年）、佐々木遥（野口ゼミ・4年）

竹内瑞樹（角ヶ谷ゼミ・4年）、小川雄二・塩谷健太・塚本亮司・野田空也・古川佑樹（藤田ゼミ・4年）

◇キャリア形成への支援・助成

（I）キャリア形成講習（参加71社）

回	月/日	13:00～13:20	13:20～13:40	13:40～14:00	14:00～14:20	14:30～14:50	14:50～15:10	15:10～15:30	15:30～15:50	15:50～16:10
①	10/30 水									
②	11/06 水									
③	11/13 水									
④	11/20 水									
⑤	11/27 水									
⑥	12/04 水									
⑦	12/11 水									
⑧	12/18 水									

(II) 企業見学会

- ①1/17 トヨタ自動車・元町工場

◇国際学術交流への助成

- ①シンガポール国立大学からの受入れ（学生 7名＋教員1名）と交流（7/2～6日）
②ベトナム・外国貿易大学からの受入れ（学生15名＋教員1名）と交流（7/2～15日）

(3) その他の支援・助成

◇学生企画行事への支援・助成

- ①経済学部ウエルカムパーティ（4/2）、②2年生のゼミ選択を前にゼミ紹介（11/6）

2. 出版事業

- ・キタン新聞7回発行（4、5、7、9、11、1、3月号を発刊）
・HP、Facebook、Twitter及び学生会員を対象にメールマガジンを媒体とした情報発信。

3. 法人運営事業

(1) 会員相互の親睦事業

(本部)

- ① 6月15日 ①総会記念講演「名大経済学部の過去・現在・未来をつなぐアーカイブス」
講師：堀田慎一郎・大学文書資料室・准教授
②「キタン・学生交流会」
②10/19 ホームカミングデイ「最新技術は考古学に何をもたらすのか」吉村和昭・榎原考研附属博物館
学芸課長、石原勝己・名大未来材料システム研究員、西藤清秀・榎原考古学研アドバイザー
「懇親野外昼食会」（会場：経済学部中庭・キタン庭園）
③ 1/11 キタン会新年祝賀会（会場：ザ サイプレスメルキュールホテル名古屋）
講演：「世界で戦う『まち一番』のクラブへ」
講師：大内田勇貴（H27）・名古屋グランパスエイト営業部
④ 3/25 「恩師謝恩会及びキタン会新入会員歓迎会」は中止したが、事前の準備会議において新制68
回代議員として金森凌、百瀬信之、関上隆、伊藤沙也加を選出

(支部等)

- ① 支部活動 支部総会、新年会、ゴルフ会、囲碁会、バス旅行、観劇会等を各支部が企画・実施した。
② 同期会・ゼミ会等が開催された。

(支部・講演会等)

- ① 5月11日：関西キタン会「日本統治下満州の社会経済について」講師：木越義則・経済学部教授
② 6月2日：一宮キタン会「わかり始めた腸内細菌と病気の関係」講師：服部昌志・山下病院理事長
③ 6月15日：大垣キタン会「EUの生成と今日的課題」講師：福澤直樹（S60）経済学部長
④ 7月21日：岡崎キタン会「キタン会と100周年」講師：長谷川博樹（副会長）
⑤ 6月22日：東京キタン会「一体性と多様性—欧州統合の今日」講師：福澤直樹（S60）経済学部長
⑥ 6月23日：西三河キタン会「19年の選手生活を振り返って」講師：岩瀬仁樹・元中日投手
⑦ 7月13日：三重キタン会「プラネタリウムの歴史と今」講師：藻利勝廣名古屋市科学館解説員
⑧ 11月24日：東三河キタン会「欧州通貨ユーロへの道と現在」講師：福澤直樹（S60）経済学部長
⑨ 1月26日：三河三支部合同懇親会 動画上映「出会いのチカラ～ランナー鈴木亜由子」

(2) 総会・理事会ほか

(総会) 定時総会：6月15日 会場：経済学部第1会議室

審議事項：第1号議案 平成30年度決算報告書承認の件

第2号議案 公益目的支出計画の計画記載事項の一部追加について承認の件

(理事会)

- ① 第1回(5月9日) 書面による理事会として、
平成30年度事業報告書・公益目的支出計画実施報告書・決算報告書を承認。
- ② 第2回(6月15日) 100周年記念事業の進行状況の報告、プレイベントへのプロモート費の支給、MGC鈴木亜由子応援ツアー、事務局の組織強化案を承認。
- ③ 第3回(10月19日) 中間決算報告を了承、100周年記念事業の経過報告、経済学部100周年特定基金への2,000万円の寄附手続き進行を承認
- ④ 第4回(11月22日) 書面による理事会として、
2019年度事業計画(修正案)、収支予算書(補正案)を承認
- ⑤ 第5回(1月12日) 2020年度の事業計画・予算案の方向性を確認。100周年記念事業実行委員会報告を了承。
- ⑥ 第6回(3月25日) 書面による理事会として、2020年度事業計画書(案)・予算(案)を可決。

(正・副会長会議)

会長、副会長5名を構成員とした「正・副会長会議」は、今期は4回(①6/11②10/8,③12/15,④3/18)開催し、理事会に提案する主要議題について検討を行った。

(3) 100周年記念事業実行委員会

- ① 100周年を1年後に控え、祝賀会等主要行事の本格的準備を推進
- ② 各種交流会(同期・支部・ゼミ会等)をプレ・イベントと位置づけ開催支援
- ③ 鈴木亜由子選手応援イベント実施、合わせて記念Tシャツ・帽子の制作販売
- ④ 経済学部建物前に、在校生デザインの100周年の宣伝看板を設置、桜山旧校舎「其湛記念園」に名高商の案内説明看板を設置
- ⑤ 情報提供の場として、キタン新聞に「名大新潮流」連載、ビジネス交流会2回開催
- ⑥ 募金活動では、大学特定基金に約6300万円、キタン会特別協力金に約700万円の募金があり、記念事業実施に必要な資金を確保